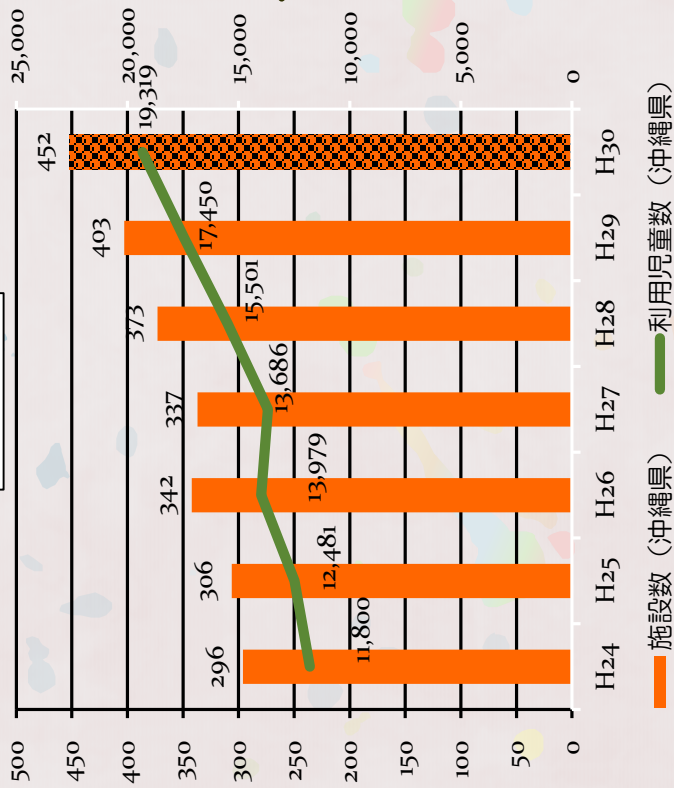
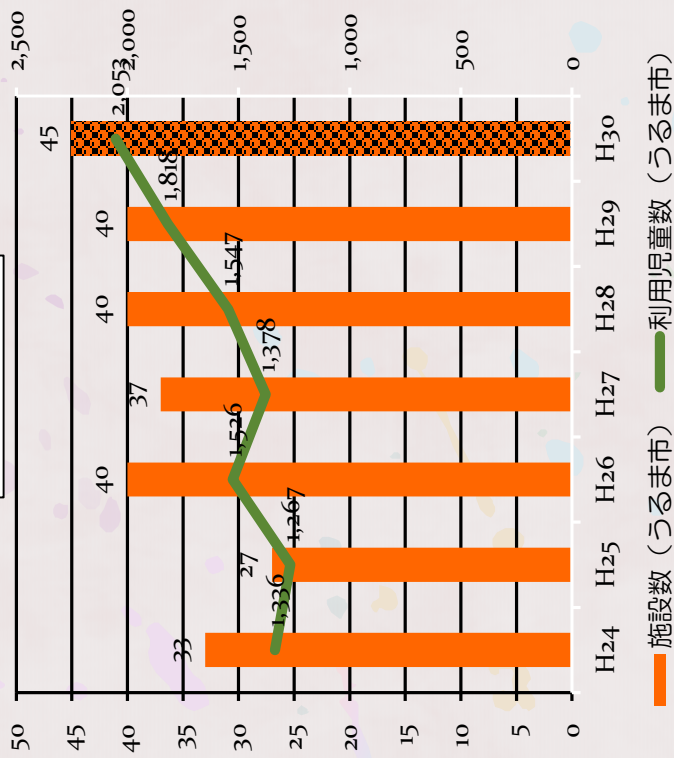


放課後児童クラブ推進

沖縄県

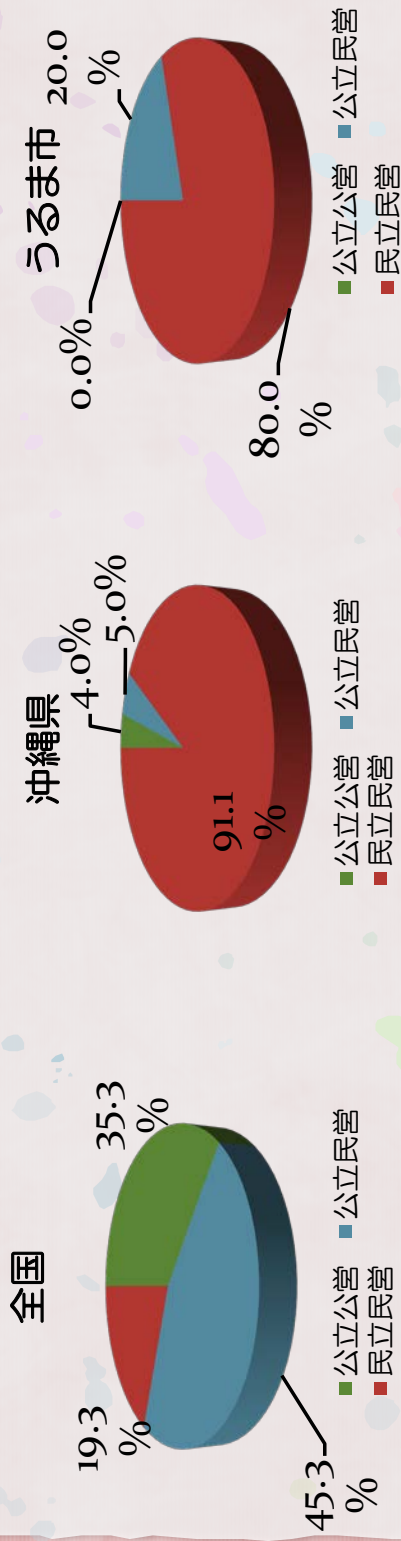


うるま市



・沖縄県の傾向は、平成27年度の子ども・子育て支援新制度の施行後は、児童クラブ数の施設数、利用児童数とも毎年増加の傾向にある。また、平成26年度までは、沖縄県では学童クラブで幼稚園児も受け入れていたことがあり、新制度の施行に合わせて基準を厳格化したことで、制度の移行期に利用児童数が減少したものと思われる。

放課後児童クラブの種類別の数



	公立公営 (施設数)	公立民営 (施設数)	私立民営 (施設数)
全国	35.3%	45.5%	19.3%
沖縄県	4.0% (16/403)	5.0% (20/403)	91.1% (367/403)
うるま市	0% (0/40)	20% (8/40)	80% (32/40)

平成29年度放課後児童クラブ実施状況調査

・沖縄県は、戦後の児童福祉行政の遅れから、全国と比較しても私立民営が9割を占めており、うるま市でも同様の傾向が見られる。